

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評 価 日 令和3年 2月 14 日

団 体 名	常和区		
事 業 名	常和を元気にする復興まちづくり事業		
対象経費	860,011 円	支援金交付 対 象 経 費	285,011 円
支援金額	213,000 円		

事業の目的・内容	目的
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風19号により大きな被害を受けた当地域では、再度災害を防止するためソフト・ハードが連携した防災対策が必要である。</li> <li>・地域住民が主体となって安心・安全な地域づくりを進める必要があり、ソフト対策として避難体制の強化など地域防災力向上のための様々な取組を行う。</li> </ul>
事業の目的・内容	内容
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 広報・災害伝承活動（復興まちづくりだよりの発行） 紙ベースの情報を全戸配布し、区内での情報共有と事業の円滑な促進を図る。</li> <li>2 避難体制の強化（防災リーダーの育成、簡易雨量計の設置） 防災士の資格取得支援、簡易雨量計を配置する。</li> <li>3 復興拠点の整備（区民協働による交流の活発化） 区民協働で被災箇所周辺の整備を行い、住民相互の交流を活発化させる。</li> </ol>

事業の活動実績	1 広報・災害伝承活動 広報活動として「復興まちづくりだよりの発行」を6回発行 災害伝承活動として災害当時の写真データなどを収集
	2 避難体制の強化 ①防災リーダーの育成 ・ 防災士の資格取得者4名（目標達成） ②簡易雨量計の設置 ・ 5基設置完了 ③自主防災活動 ・ 消防団との連携により防災マップ、自主避難基準を作成 ・ 区との連携により近隣企業2社と一時避難所に関する協定を締結
	3 復興拠点の整備 延べ100名以上の区民の参加を得て、つつじ公園・サクラソウ群生地（整地・植樹・移植など）を行った。



消防団との連携による防災勉強会(R2.6)



区民協働による復興拠点整備(R2.5)

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>【総括】</p> <p>「常和復興まちづくり協議会（4/1設立）」を中心に、災害、防災、公園環境の3つのチームごとに、多くの区民の協力を得ながら活動を展開できた。</p> <p>コロナ禍で多人数を集めた会合やイベントは難しい状況だったが、感染対策を十分に行いながら、ほぼ計画どおり事業を進めることができた。</p> <p>【個別事業】</p> <p>1 広報・災害伝承活動</p> <p>「復興まちづくりだより」の配布により、災害復旧事業の進捗状況などタイムリーな情報を区民・関係機関に提供することができた。</p> <p>マスコミ等にも取り上げられ、地域外にも情報発信することができた。</p> <p>2 避難体制の強化</p> <p>①防災リーダーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の有資格取得者が6名となり自主防災組織への支援体制が整ってきた。</li> </ul> <p>②簡易雨量計の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・即時の情報収集が可能となり、自主避難の判断材料が整った。</li> </ul> <p>③自主防災活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップ、自主避難基準、近隣企業との一時避難所協定等により区独自の避難体制が構築できた。</li> </ul> <p>3 復興拠点の整備</p> <p>つつじ公園・サクラソウ群生地地の整備（整地・植樹・移植など）に多くの区民の参加を得ることができ、次年度以降の事業展開に一步を踏み出すことができた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>コロナ禍により勉強会の開催は縮小したが、感染対策の徹底と会議方法の工夫等により申請どおり事業実施できた。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>「常和を元気にする」が最大の目標であったが、複数の取組みを年間通じて実施することにより、多くの区民の参画を得ることができた。取組みを通じて出た様々なアイデアの実現化により、まちづくりに向けた意識共有をすることができた。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の資格取得にあたり旅費については個人負担とした。また、消防団経験者の特例措置制度を活用して費用を節減した。</li> <li>・復興拠点整備のための重機の使用について、個人所有物を借用し、オペレーター代は無償とした。</li> </ul>
	その他、評価すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費節減への取組み</li> </ul> <p>上記の防災士取得費用のほか、備品購入にあっても区民からの機材提供により経費節減できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催</li> </ul> <p>復興拠点の整備に関連して、災害ボランティアへの「お礼イベント（復興ダイコンの収穫祭）」開催により、地域内外の多くの方々に喜んでいただけた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、県・市の行う災害復旧工事と並行しながら様々な事業を進めるものであり、令和3年度以降も継続して取り組んでいきたい。</li> <li>・上記1～3の個別事業について、3つのチームごとに区民及び行政機関との協力・連携により進め、特に防災・減災関係のへの取組みについては本事業の柱として積極的に事業展開したい。</li> </ul>
---------	--